

熊本大学シラバス

基本情報

授業科目名	(日)	生命倫理学特論		
	(英)	Bioethics		
時間割コード	06000	開講年次	1年	
学期	前期	曜日・時限	他	
講義題目				
担当教官	浅井 篤			
科目コード	6923250010	科目分類		
選択／必修	必修	単位数	2	

詳細情報

授業形態	講義、スモールグループ討議、プレゼンテーション、英語論文およびテキスト精読			
授業の目標	<p>授業の到達目標およびテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・医科学に関わる多種多彩な倫理的問題、歴史的問題を認識できる。 2. 医療行為および研究行為に内在する本質的問題を把握し一貫性のある議論を行える。 3. 関連倫理方針および法に精通し、各倫理ガイダンスの基礎になっている倫理的理解をできる。 4. 生命・医療倫理の基礎を形成する基本的な倫理理論を知る。 			
授業の内容	<p>授業計画(内容は変更されることがある)</p> <p>第1回: 生命・医療倫理総論 第2回: インフォームド・コンセント関連事項 第3回: 治療拒否 第4回: プライバシー 第5回: 終末期医療1 第6回: 終末期医療2 第7回: 精神科医療・高齢者医療 第8回: 生のはじまり 第9回: 高度先進医療の倫理1 第10回: 高度先進医療の倫理2 第11回: 医学研究の倫理1 第12回: 医学研究の倫理2 第13回: 医療政策と医療資源配分 第14回: 公衆衛生と人権 第15回: まとめ</p>			
キーワード	生命倫理、研究倫理、臨床倫理、道徳哲学			
テキスト	指定なし。適宜配布する。			
参考文献	Robert M. Veatch, Amy Haddad. Case Studies in Pharmacology Ethics 2nd edition, Oxford University Press, 2008, Oxford および 渡辺義嗣訳(共立出版)、2010年			
評価方法・基準	出席60%未満で不可。試験またはレポートで評価(80%)。出席状況および授業態度を(20%)。			
履修上の指導	授業への積極的参加			
事前学習	事前配布資料を各自精読した上で授業に参加する。			
事後学習	授業で提示された倫理的問題を各自十分に考える。			